

EDB Postgresご紹介資料 ～ 概要版 ～

株式会社アシスト



アジェンダ

- PostgreSQLとEDB Postgres
- EDB Postgresが選ばれる理由
- EDB Postgresのライセンスとサービス



PostgreSQLの進化の歴史

Version	リリース日付	主な機能
9.5	2016/01/07	行レベルセキュリティ、BRINインデックス、pg_rewind、JSON強化、WAL圧縮、 パラレルVACUUM、UPSERT(INSERT ON CONFLICT)、など
9.4	2014/12/18	Huge Page対応、WALバッファ書込み改善、マテリアライズドビューの拡張、 レプリケーションスロット、遅延レプリケーション、GINインデックス、バイナリJSON、など
9.3	2013/09/09	高速フェイルオーバー、マテリアライズドビュー、更新可能ビュー、データチェックサム、 並列pg_dump、COPY FREEZE、など
9.2	2012/09/10	64CPUコアまでの検索性能のスケールアップ、index-only scan、カスケード・レプリケーション
9.1	2011/09/12	同期レプリケーション、UNLOGGED TABLE、セキュリティ強化(SE-PostgreSQLの統合) など
9.0	2010/09/20	ホット・スタンバイ、ストリーミング・レプリケーション、64-bit版 Windowsのサポート 列単位のトリガ など
8.4	2009/07/01	再帰SQL、Windows関数、ディスク先読み、論理リストア高速化 Visibility MapによるVACUUMの高速化、Free Space Mapのメモリ管理の自動化
8.3	2008/02/04	HOT(ヒープオンリータプル)、分散チェックポイント、バックグラウンドライタの自動セルフチューニング
8.2	2006/12/05	SQL改良(構文追加)、暗号化の最新アルゴリズム採用、アドバイザリロック
8.1	2005/11/08	2相コミット(Two-phase Commit)、自動VACUUM、ビットマップスキャン
8.0	2005/01/17	Windows対応、アーカイブログ機能、バックグラウンドライタ機能、 テーブルスペース、PITR(Point-In-Time Recovery)、Save Point
7.4	2003/11/16	IPv6対応
7.3	2002/11/27	スキーマ、動的SQL文実行
7.2	2002/02/04	並行VACUUM、MD5によるパスワード暗号化
7.1	2001/04/13	WAL(Write Ahead Logging)、外部結合
7.0	2000/05/08	外部キー制約、各種結合
6.5	1999/06/09	多版型同時実行制御(MVCC)、ホットバックアップ
6.4	1998/10/30	PL/pgSQL、マルチバイト文字
6.3	1998/03/01	副問い合わせ
6.2	1997/10/02	JDBC、トリガ
6.1	1997/06/08	遺伝的アルゴリズムによる問い合わせ最適化、シーケンス
6.0	1997/01/29	PostgreSQLとして初リリース

エンタープライズDB社は、米国で2004年の設立以来、PostgreSQLをベースにした企業向け製品および付随するサービス全般を提供する唯一の企業としてビジネスを展開しています。



Magic Quadrant for Operational Database Management Systems, 2015



出典元
 *The Gartner report, Magic Quadrant for Operational Database Management Systems, by Donald Feinberg, Merv Adrian, Nick Heudecker, Adam M. Ronthal, Terilyn Palanca, was published October 12, 2015.

企業URL <http://enterprisedb.co.jp>
 本社

社名	EnterpriseDB Corporation
所在地	米マサチューセッツ州
設立	2004年
代表	Ed Boyajian (エドボヤジン、社長 兼CEO)
導入社数	2500社以上 (ワールドワイド)

日本法人

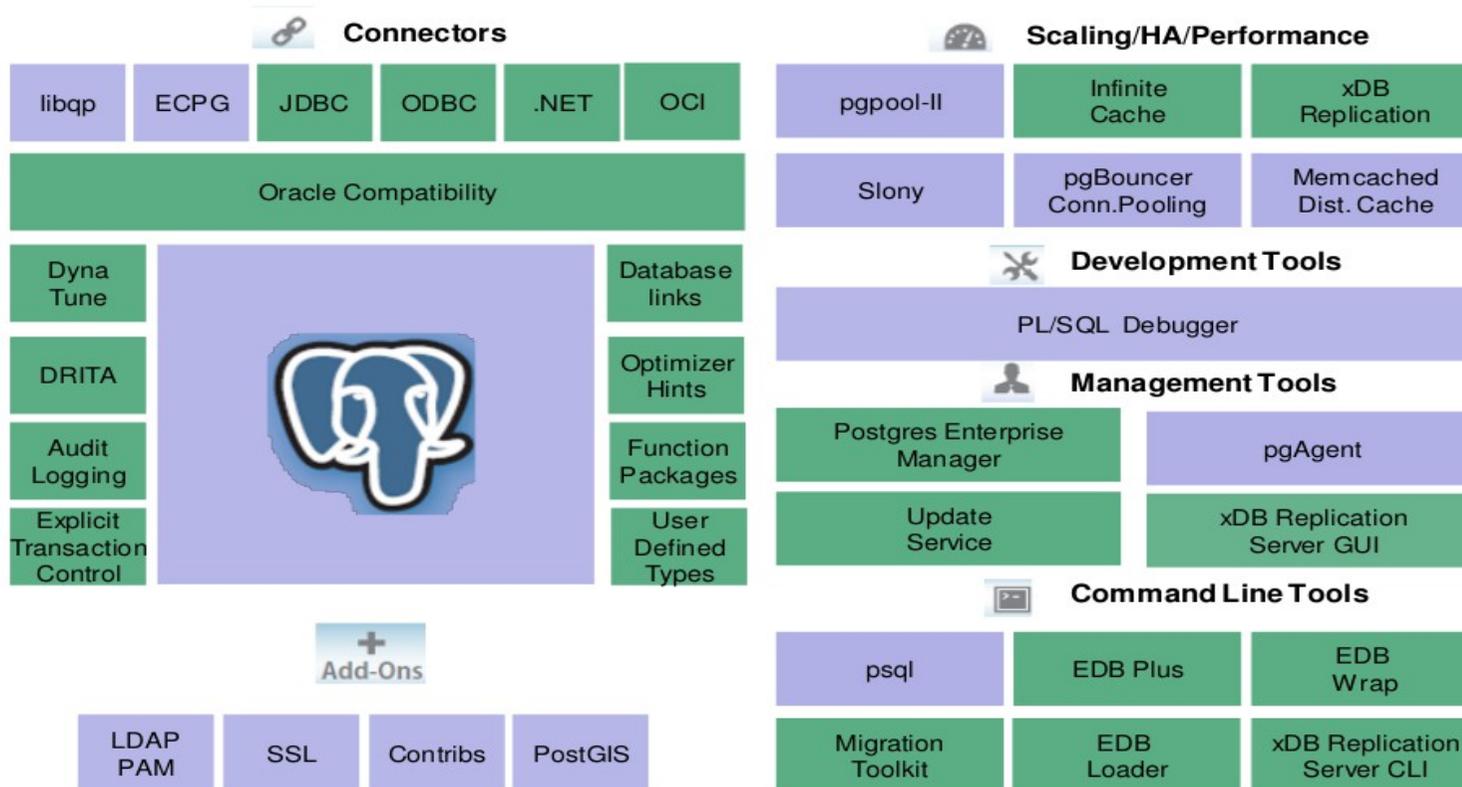
社名	エンタープライズDB株式会社
設立	2011年4月14日
代表	藤田祐治



EDB Postgres 概要

企業ユーザのニーズを満たす商用版PostgreSQL
PostgreSQL機能をコアとして、エンタープライズ向けの付加価値が充実

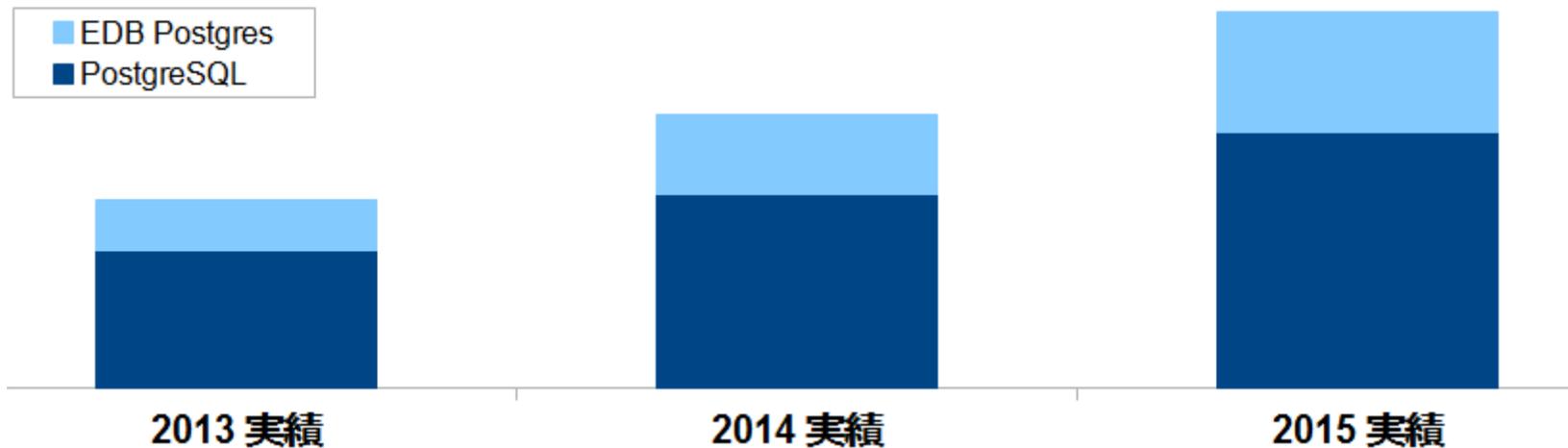
EDB Postgres Enterprise





EDB Postgres 採用実績と傾向

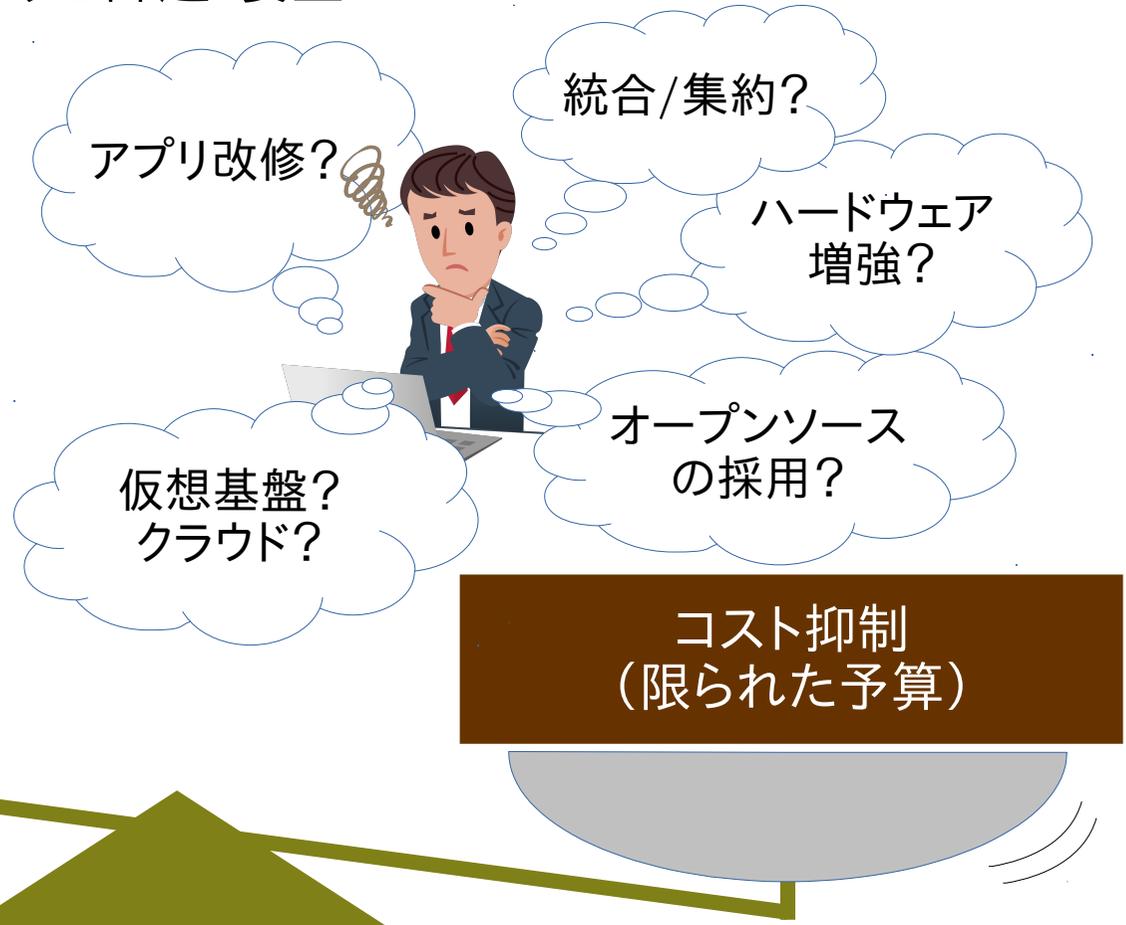
オープンソース活用を推進されるお客様を検討される中で、
適材適所でEDB Postgresを活用する企業が増加中



業種	システム	採用データベース		
		EDB Postgres	PostgreSQL	Oracle Database
製造	業務システム	●		●
金融	業務システム	●		●
運輸	業務システム	●	●	●
情報通信	ECサービス	●	●	●
情報通信	業務システム	●	●	●
電気・ガス・水道	業務システム		●	●
公共	ECサービス		●	●
サービス	ECサービス		●	●

データベース環境を取り巻く理想と現実

システム構築、リプレイス時によく耳にする課題・要望

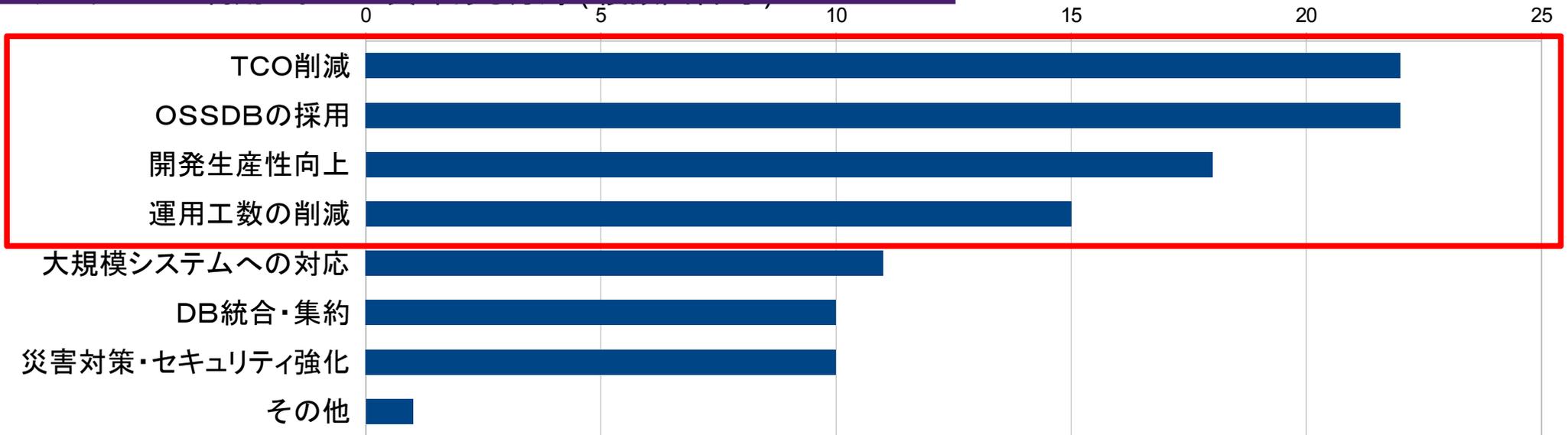


データベース環境に対する相反する要件、さまざまな選択肢の板挟みに

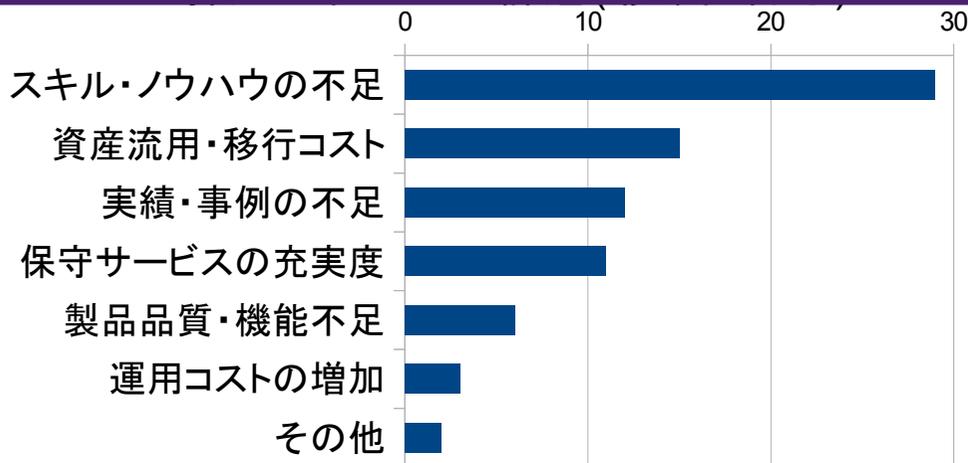


OSSDBに寄せるお客様の期待と課題

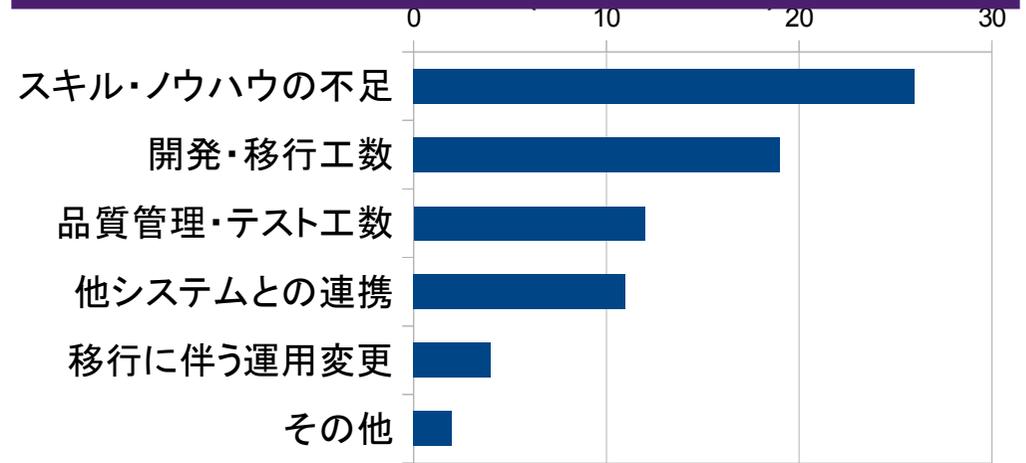
データベース利用において興味ある分野(複数回答可)



OSSDB採用にあたっての課題(複数回答可)



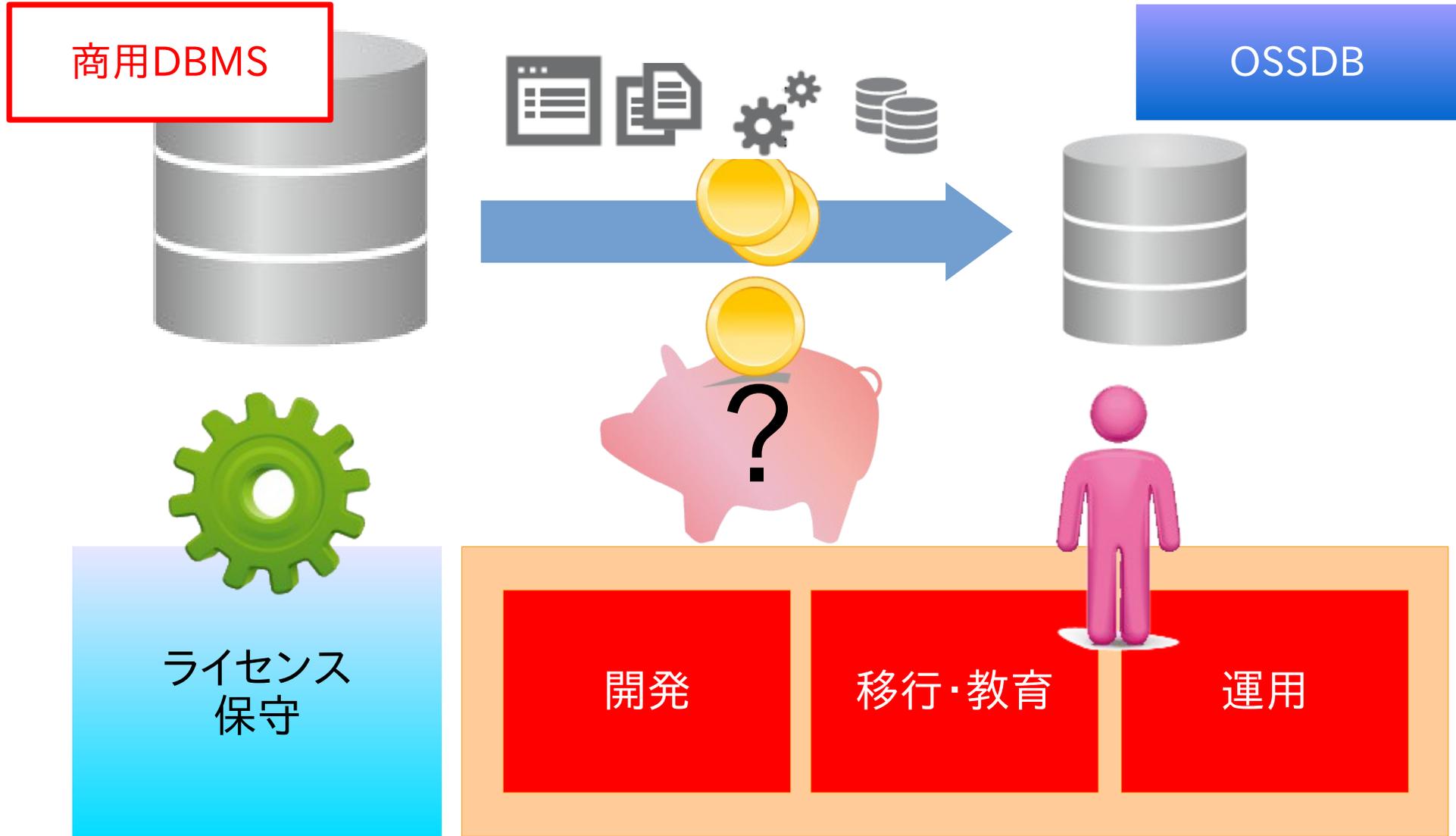
OSSDB移行における課題(複数回答可)



2014年度弊社開催イベントアンケートより

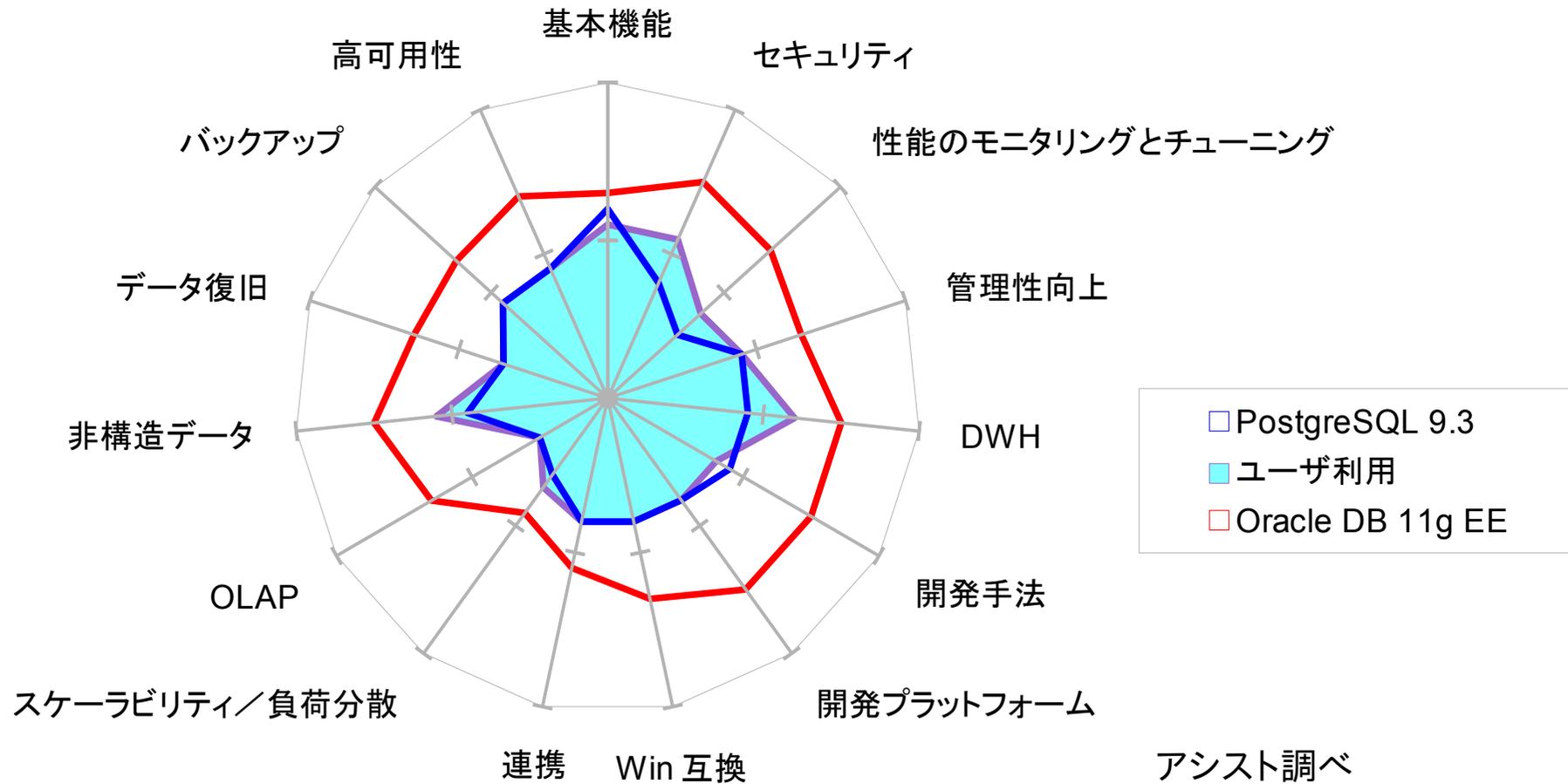


OSSDBへ移行すればコストは削減できるのか？





ユーザ利用におけるPostgreSQL機能充足度分析



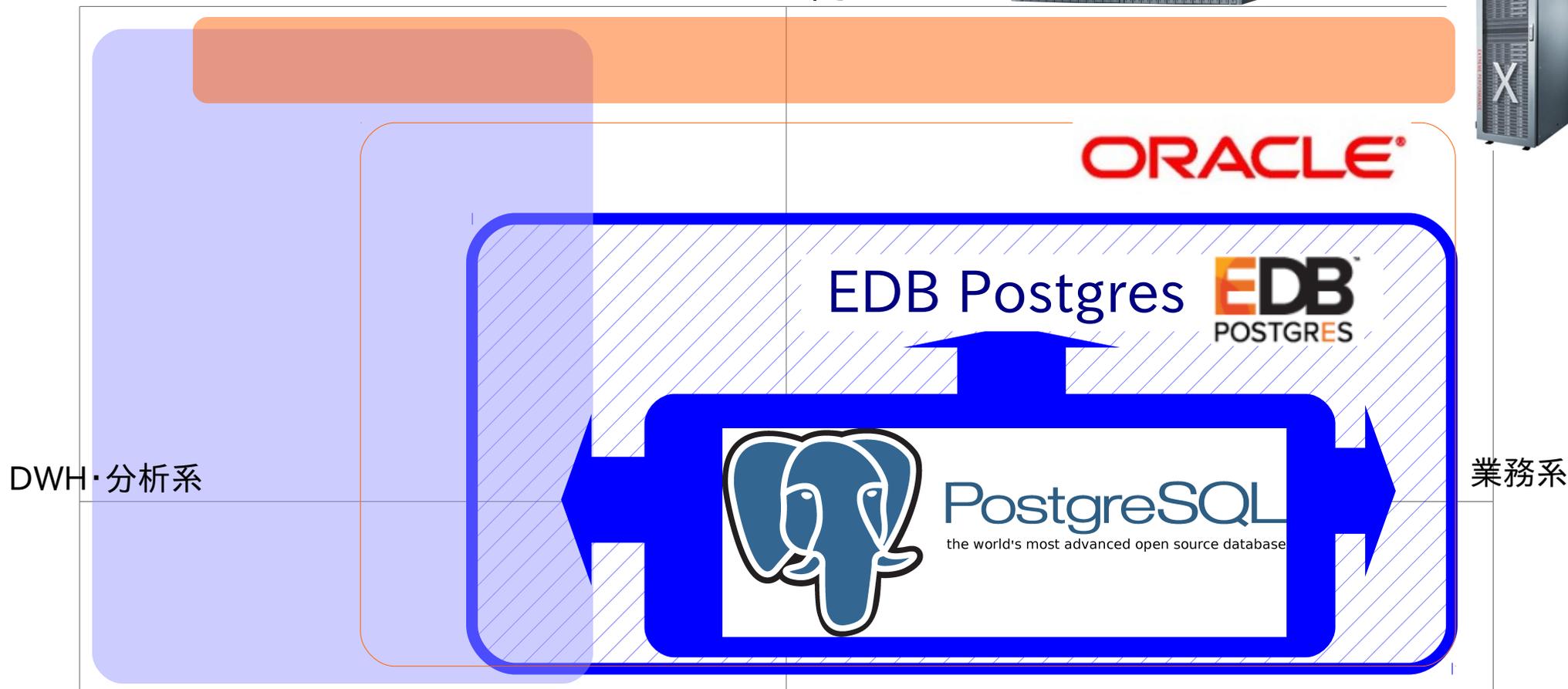
DBコアの充足度は高い、但し、開発・運用面において機能不足



EDB Postgres のカバー範囲

DBMSシステム特性 & 要件レベル

高



適用範囲を拡大するPostgreSQLを企業利用の観点から補完



アジェンダ

- PostgreSQLとEDB Postgres
- EDB Postgresが選ばれる理由
- EDB Postgresのライセンスとサービス



なぜ、EDB Postgresが選ばれているのか？

EDB Postgresが選ばれる3つの理由



1. オプション機能がオールインワン
2. 開発/運用を最適化する豊富な機能・ツール
3. スモールスタート&柔軟性の高いライセンス



なぜ、EDB Postgresが選ばれているのか？

EDB Postgresが選ばれる3つの理由



1. オプション機能がオールインワン
2. 開発/運用を最適化する豊富な機能・ツール
3. スモールスタート&柔軟性の高いライセンス

ITライフサイクルからみた現場のお悩み

ITライフサイクル



- パフォーマンス他、システム要件は膨らむも、システム成長が予測しづらい
- 要件を満たす十分な予算が確保できない

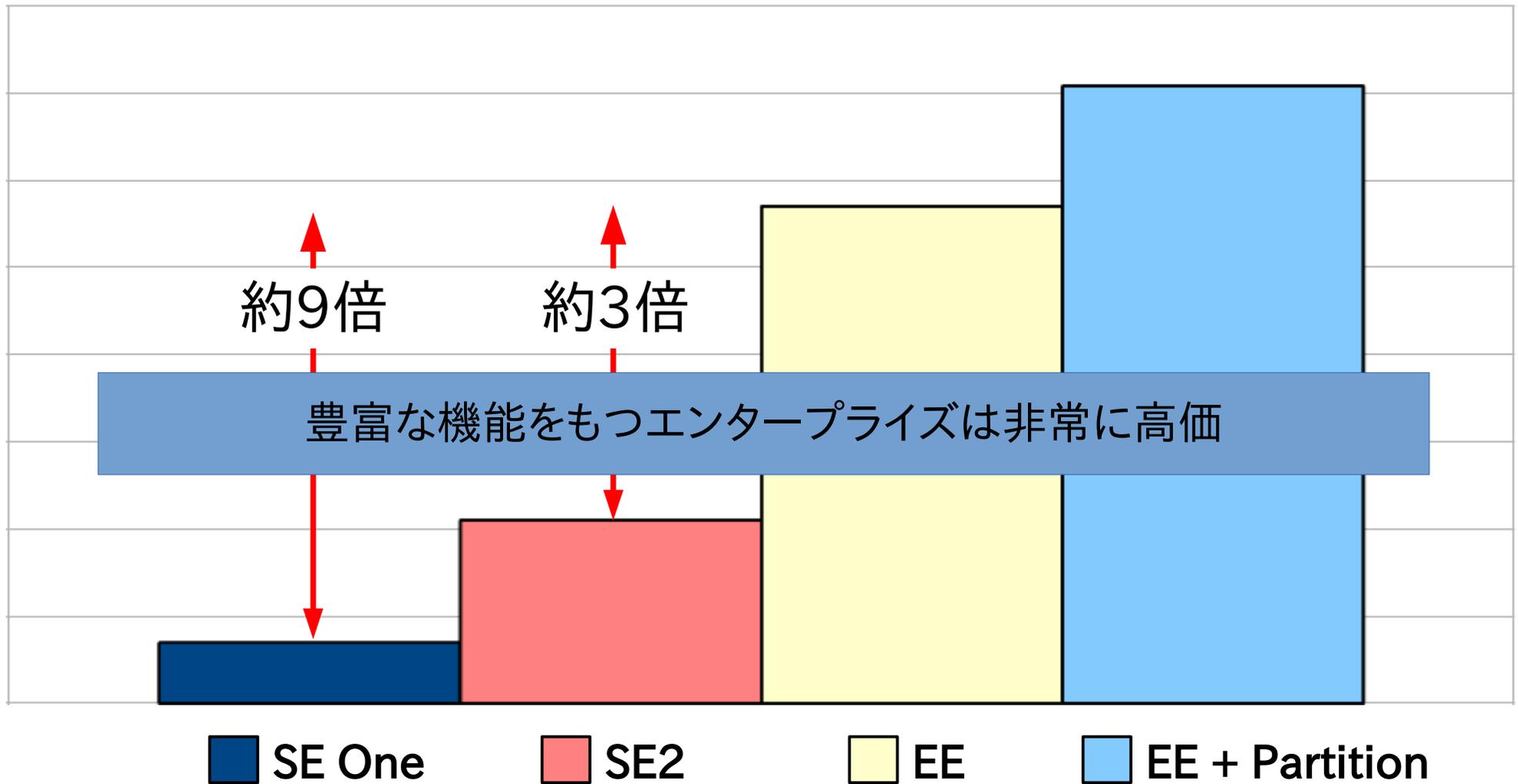


- 予測を超える想定外の課題
- リリース後の追加要件の発生
- 追加投資の高いハードル



参考) エントリー製品とEnterprise製品の価格差

Oracle プロセッサライセンス (1P4C) での比較



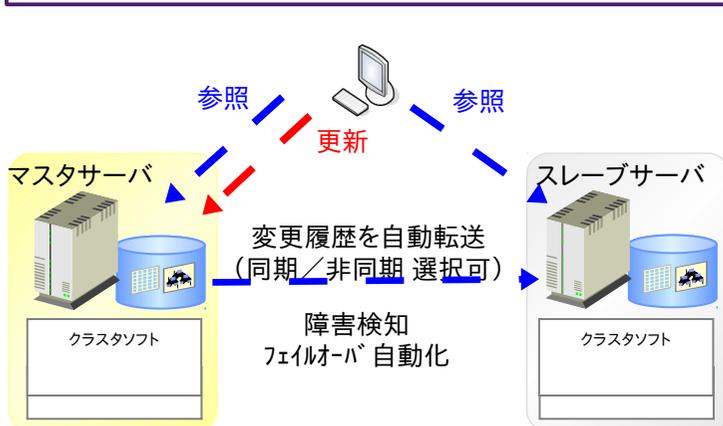


EDB Postgresはすべての機能がオールインワン

ボトルネック分析/性能監視

2012-10-17 04:55:26.126045-08 0.020 SELECT * FROM pem.job J
 2012-10-17 04:55:26.126045-08 187.021 SELECT * FROM (SELECT
 3 2012-10-17 04:55:26.426095-08 8.428 SELECT n.nspname AS schema
 4 2012-10-17 04:55:26.440112-08 0.012 SELECT "sequence_name" FR
 5 2012-10-17 04:55:26.440711-08 0.078 UPDATE pem.probe_sch
 6 2012-10-17 04:55:26.441436-08 18.243 SELECT "schema_name", "ind
 7 2012-10-17 04:55:26.442906-08 0.36 SELECT c.relname AS index
 8 2012-10-17 04:55:26.461495-08 0.029 SELECT "package_name", "fu
 9 2012-10-17 04:55:26.462055-08 0.075 UPDATE pem.probe_sch
 10 2012-10-17 04:55:26.464687-08 0.015 SELECT "index_name", "tabl
 11 2012-10-17 04:55:26.465214-08 0.067 UPDATE pem.probe_sch
 12 2012-10-17 04:55:26.465815-08 0.023 SELECT "package_name", "fu
 13 2012-10-17 04:55:26.466224-08 0.051 UPDATE pem.probe_sch
 14 2012-10-17 04:55:26.469149-08 0.045 UPDATE pem.probe_sch
 15 2012-10-17 04:55:26.469333-08 0.002 SELECT "package_name", "fu

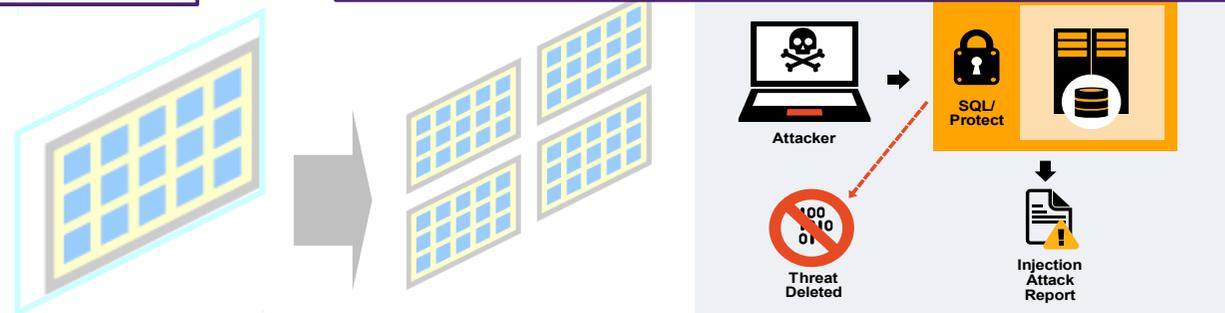
サーバ負荷分散



災害対策・データ連携



大規模テーブル分割



セキュリティ強化



EDB Postgresはすべての機能がオールインワン

- ◆ パーティショニング機能
- ◆ 他データベースとの連携機能
- ◆ DB監視/分析機能 など



¥0

【お客様の声】



高額なデータベースと同等レベルの機能を備えながら、はるかに低価格で実現されている。かつ、OSSDBよりも堅牢なセキュリティ機能を備えている。



用途拡大に伴いデータ量が増加、結果深刻なパフォーマンス性能問題が発生。Oracle SE から EDB Postgresへレプリケーション & データ分割（パーティション化）によりコストを最小限にサーバ負荷分散を実現、パフォーマンスが改善できました。



なぜ、EDB Postgresが選ばれているのか？

EDB Postgresが選ばれる3つの理由



1. オプション機能がオールインワン
2. 開発/運用を最適化する豊富な機能・ツール
3. スモールスタート&柔軟性の高いライセンス

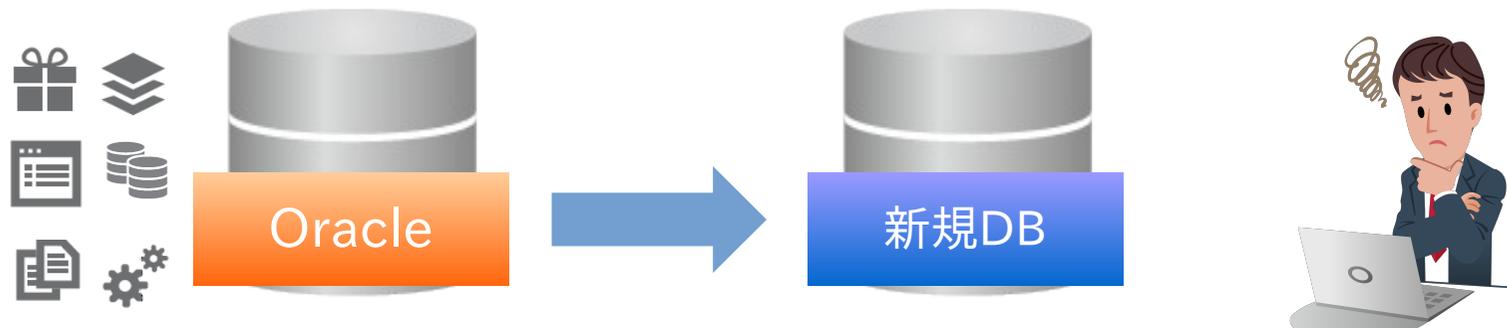
DB切替、再構築における現場のお悩み&ご要望

ITライフサイクル



- 既存環境資産の再利用
- 移行工数・コストを削減

- Oracleスキルの活用
- 運用の省力化



製品ライセンス以外のコスト(費用・工数)拡大が予測できない

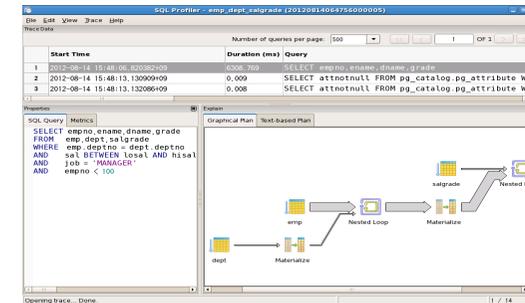


EDB Postgresは開発/運用を最適化する機能を豊富に提供

移行作業の省力化



運用保守工数の削減



Oracleスキルの活用 (開発生産性の向上)

改修コストの削減

移行において修正・変更が発生するオブジェクト数の比較

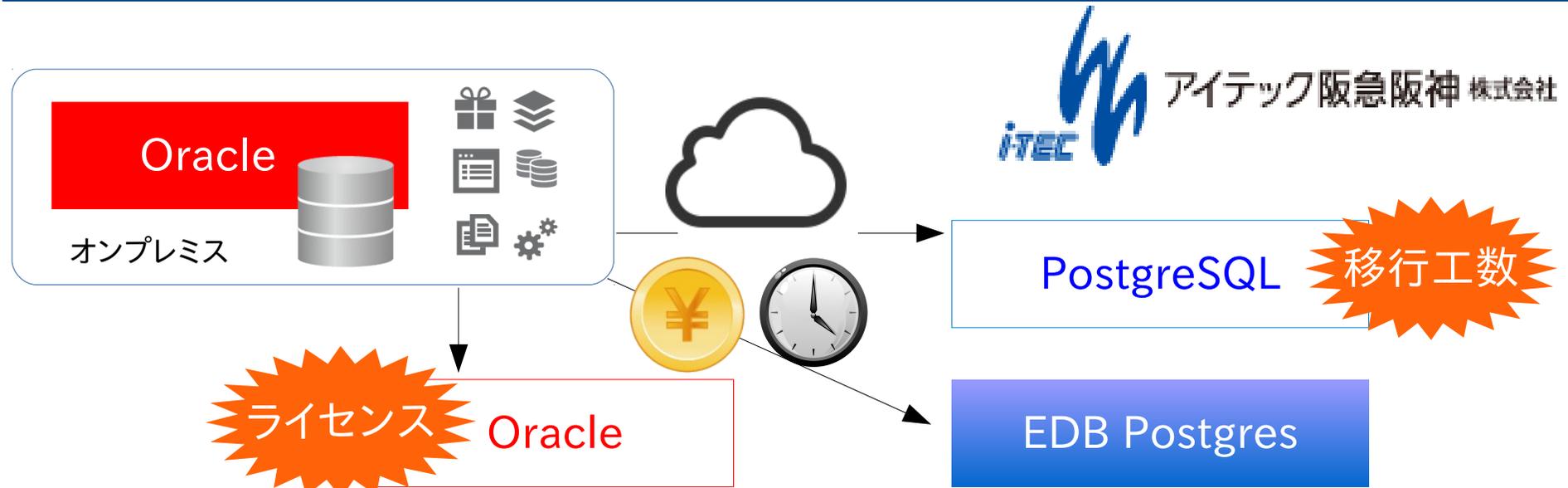


※アシストでは移行影響度を調査するサービスもご提供しています。

※某社診断結果より

EDB Postgresは開発/運用を最適化する機能を豊富に提供

クラウド化を実現するための時間と費用を大幅に削減



【お客様の声】



クラウド化を推進する中で、Oracleライセンスがネックに。
Oracleベースのアプリケーション資産を、EDB Postgresの持つ豊富なツールによりスムーズに移行を完了。
また、OracleDBAスキルを活用することができ、システムコストを84%削減できました。



なぜ、EDB Postgresが選ばれているのか？

EDB Postgresが選ばれる3つの理由



1. オプション機能がオールインワン
2. 開発/運用を最適化する豊富な機能・ツール
3. スモールスタート&柔軟性の高いライセンス



DBプラットフォーム選定における課題と要望

初期の投資は抑えたい

マルチコアにより
ライセンスコストが増加

今後の基盤は
統合集約?分散?

インフラ環境の
柔軟性

投資の柔軟性

仮想化、クラウドで
ライセンスはどうなるの?

期間限定利用したい

ライセンス制約で、プラットフォームが自由に選択できない
初期投資が大きく、自由度が低い



参考) Oracle を利用する上での懸念点

サービスレベルの一致

Q. サービスレベルの一致とはなんですか。

A. 製品(群)毎にサポート契約のありなしを一致させていただくルールになります。

<http://www.oracle.com/jp/support/faq/faq-license-079346-ja.html#01-1>

サポート料金調整

Q. 更新料金の取扱はどうなりますか。

A. 前年度料金をベースとした変動制となっております。

<http://www.oracle.com/jp/support/faq/faq-contact-079338-ja.html#04-2>

製品体系の変更

Q. Oracle Database Standard Edition、Oracle Database Standard Edition Oneのライセンスは、今後もそのまま使用可能ですか？

A. 今後、Oracle Database Standard Edition、Oracle Database Standard Edition Oneのライセンスは販売終了を予定しておりますので、今後ユーザー追加、CPU追加が必要となる場合はご注意ください。

http://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a_id/2803

仮想環境の課金ルール

Q. サーバー仮想化ソフトウェア(Oracle VM、VMware、Hyper-Vなど)を使用した場合のライセンスカウントはどのようになりますか？

A. Oracle製品がインストールされる(又は稼働する)物理サーバーに搭載されている全ての物理プロセッサがライセンスカウントの対象になります。

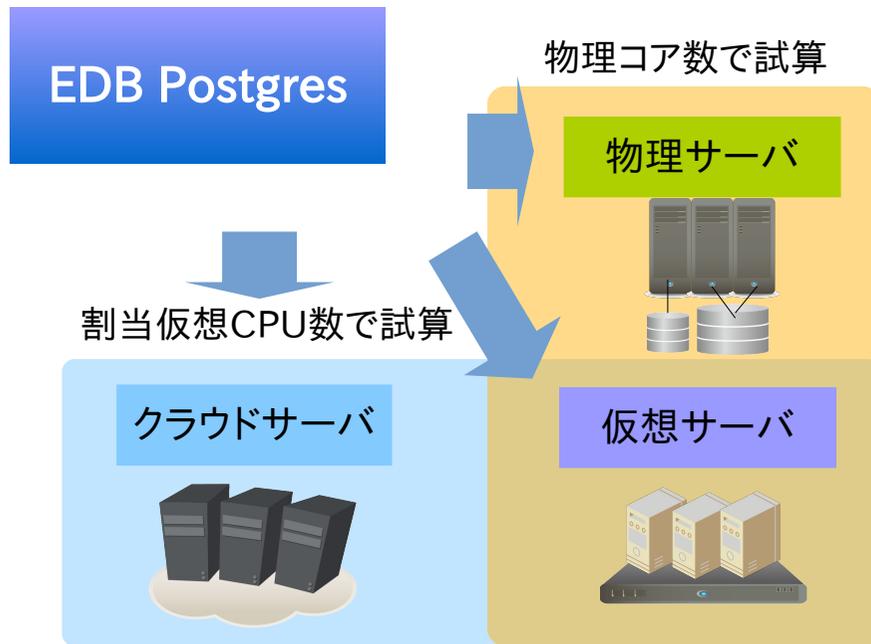
https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a_id/2673



環境を選ばない&試しやすいライセンス

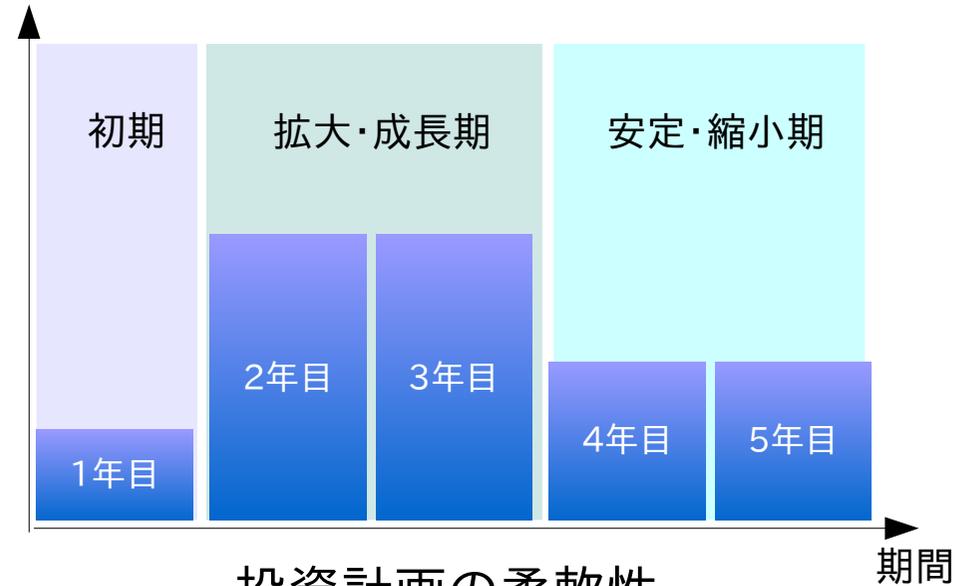
サブスクリプション・ライセンス

(年単位※使用权+サポート)
※複数年契約あり



システム構成の柔軟性

契約本数



投資計画の柔軟性

システム計画や成長にあわせた柔軟なライセンス体系をご用意

- ◆ プラットフォーム環境
- ◆ 利用期間



自由に選択可

【お客様の声】



クラウド化(AWS等)を推進していく中で、既存ソフトウェアのライセンスが大幅にアップ、移行を推進する上で大きなハードルとなった。
EDB Postgresを選択したことで、移行のハードルを超えることができ、順次クラウド化が進んでいる。



DWHシステム構築プロジェクトにおいて、EDB Postgresを選択することで限られた予算内で初期投資を抑えた基盤を手に入れることができた。
ソフトウェアを経費として計上できるため、今後のシステムの成長に併せて、年度ごとに最適な予算を組むことができるようになった。

メーカー保証・サポート付きだから安心してご利用いただけます

- 24時間365日の問合せサポート
- 製品エンハンスメント
- 不具合パッチのご提供

調査・検証工数の削減

運用リスクの遡減

コア機能の改善をコミュニティへ還元



【お客様の声】



PostgreSQLは製品として魅力的でしたが、開発・運用していくことにサポート面で漠然とした不安がありました。
EDB Postgresはメーカーサポートがあり、コミュニティと連動しているため、安心して利用することができます。



EDB Postgres Enterprise の価値

設計



構築
(開発・移行)



試験



運用

移行支援

チューニング支援

運用支援

Oracle互換

メーカーサポート

EDB Postgres Enterprise

エンタープライズ領域をカバーしながらTCOを削減
移行プロジェクトの構築～運用フェーズの工数・コストを削減



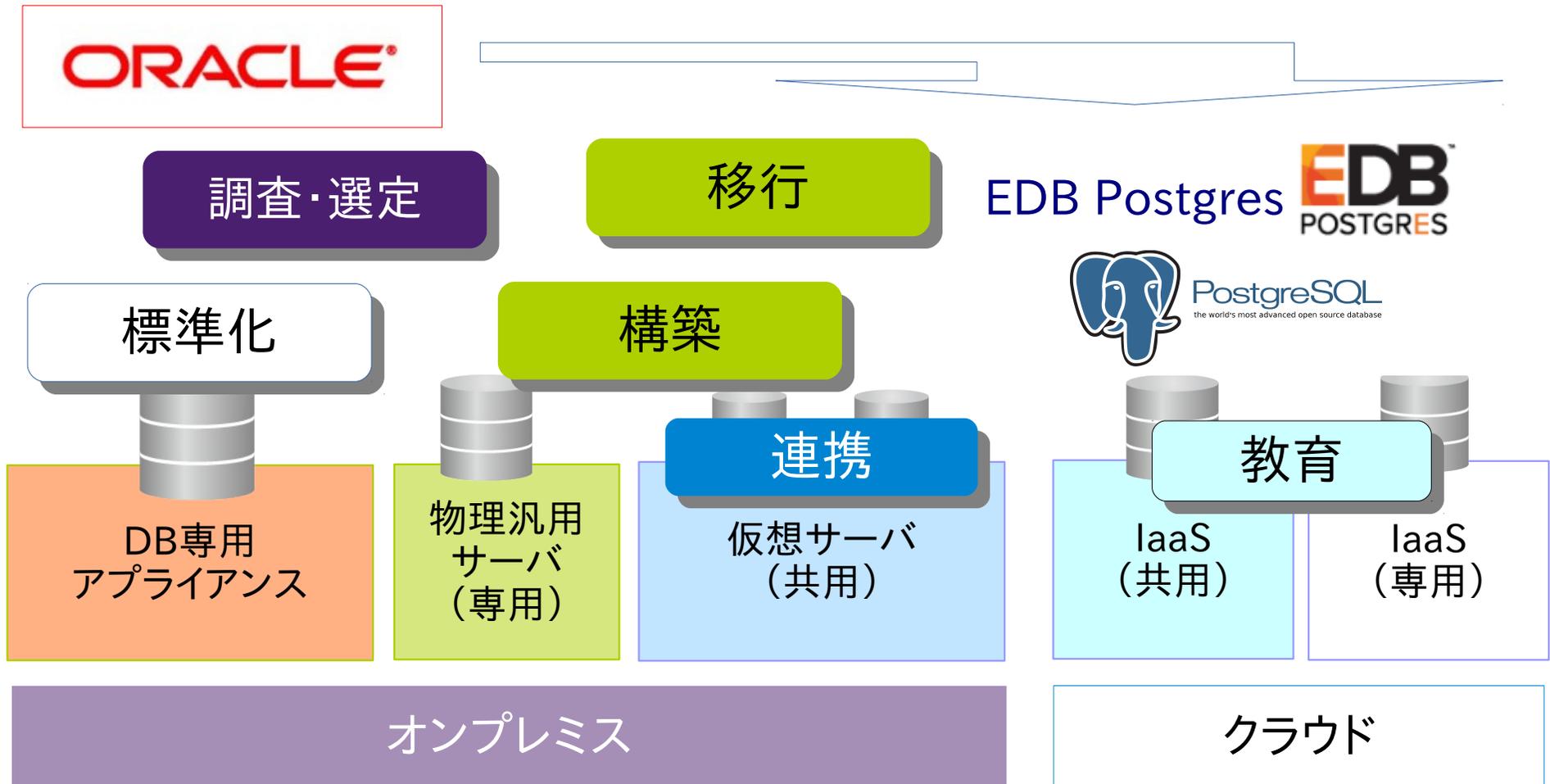
アジェンダ

- PostgreSQLとEDB Postgres
- EDB Postgresが選ばれる理由
- EDB Postgresのライセンスとサービス



アシストの考えるDBコスト削減の道

アシストはDBダブル・スタンダード※をご支援します
※環境や用途や要望を元にした適材適所のDBの選択



||| プロダクトサポート

エディション	Enterprise	Standard
ライセンス形態	サブスクリプション(使用権+サポート)	
契約期間	1年間 ※1	
契約単位	uniCore ※2	
価格(年間)	¥265,000	¥184,000
サポート時間	24時間365日	
サポート言語	日本語	
問合せ先(媒体)	アシストサポートセンタ (Web / メール / 電話)	
問い合わせ回数	無制限	

※1 3年、5年の複数年契約も提供可能です。

※2 uniCoreとは、物理Core数、仮想サーバまたは仮想インフラ上の仮想Core数、パブリックIaaS/PaaS上の仮想CPU数です。

最小 2uniCoreから、1uniCore単位でご提供いたします(2016年2月現在)。

Enterprise: ¥512,000～ Standard: ¥368,000～

こちらは、Oracle Database Standard Edition One、Oracle Database Standard Editionからの切替え、または、Oracle Database Standard Edition2検討時に限ります。

上記以外の場合は、4uniCoreが最小構成となります。

お客様を支える万全のPostgresサポート体制

サポートのプロ集団

- 全国5拠点(東京、大阪、名古屋、宇部、札幌)にサポートSEが常駐
- ミッションクリティカルなデータベースの24時間365日サポート
- 年間1500件以上の問合せに対応

Oracleを熟知したエンジニアによるPostgresサポート

Oracleからの置き換えを検討される際、重要なポイントであるOracle互換機能の注意点や、他DBとの連携などOracleについて熟知したアシストならではの情報提供を実施します。

全社一丸のサポート体制

サポートセンターだけでは解決できない課題、緊急性の高い問題に対しては、全国各地の営業やDBフィールド技術者と連携し、お客様の課題解決に取り組める体制をとっています(一部有償)。

お客様をサポートする情報共有

お伺いした環境情報やご質問、ご要望はシステムを通じて各スタッフで共有し、お問合せに対応しています。豊富なPostgresナレッジを活かした迅速かつ的確なサポートを提供しております。

【お客様の声】



もらった回答への追加の質問に対しても早々に返事が届き、回答内容に具体的な手順や説明が明示されており、**その手順を試すだけで手戻りもなく解決**したのです。アシストのサポートからは、**スピードと品質**を感じました。



過去にOracle Databaseのバージョンアップで頼りにさせてもらったアシストのサポートサービスを利用すれば、バージョンアップ時に**旧バージョンと新バージョンの差分を正しく把握でき、適切な対応が取れる**と思いました。



これまで**質の高いサポートサービスを提供**していただいていた実績と、**Oracle Database と EDB Postgres の両方に精通**しているという点を鑑みて、今回のEDB Postgresに関しても引き続きアシストにお願いすることにしました。

お客様満足度90%以上



導入検討はリスクフリー

● EDB Postgres評価用プログラム（60日無償）

- 百聞は一見に如かず、Oracle DBとの互換性や豊富なGUIツールの効果をご自身で体験ください。

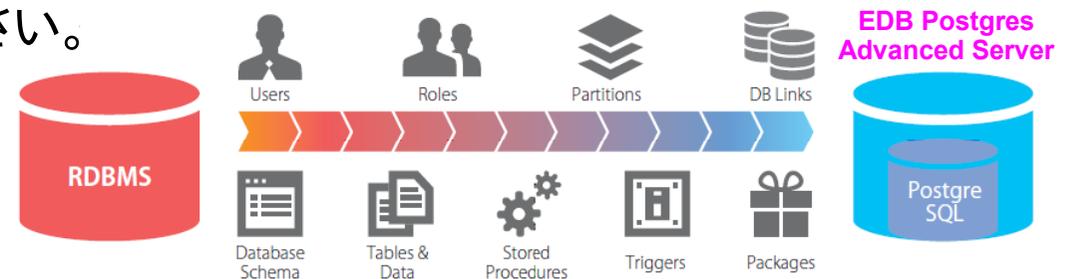
評価用プログラムの詳細は以下を参照ください。

<http://www.ashisuto.co.jp/product/category/database/postgresql/download/>

● Oracle DB移行難易度評価

既存システムのOracleスキーマオブジェクトを元に、移行難易度を調査、分析、移行難易度を評価レポートとして提供

詳細は担当営業までお問合せください。

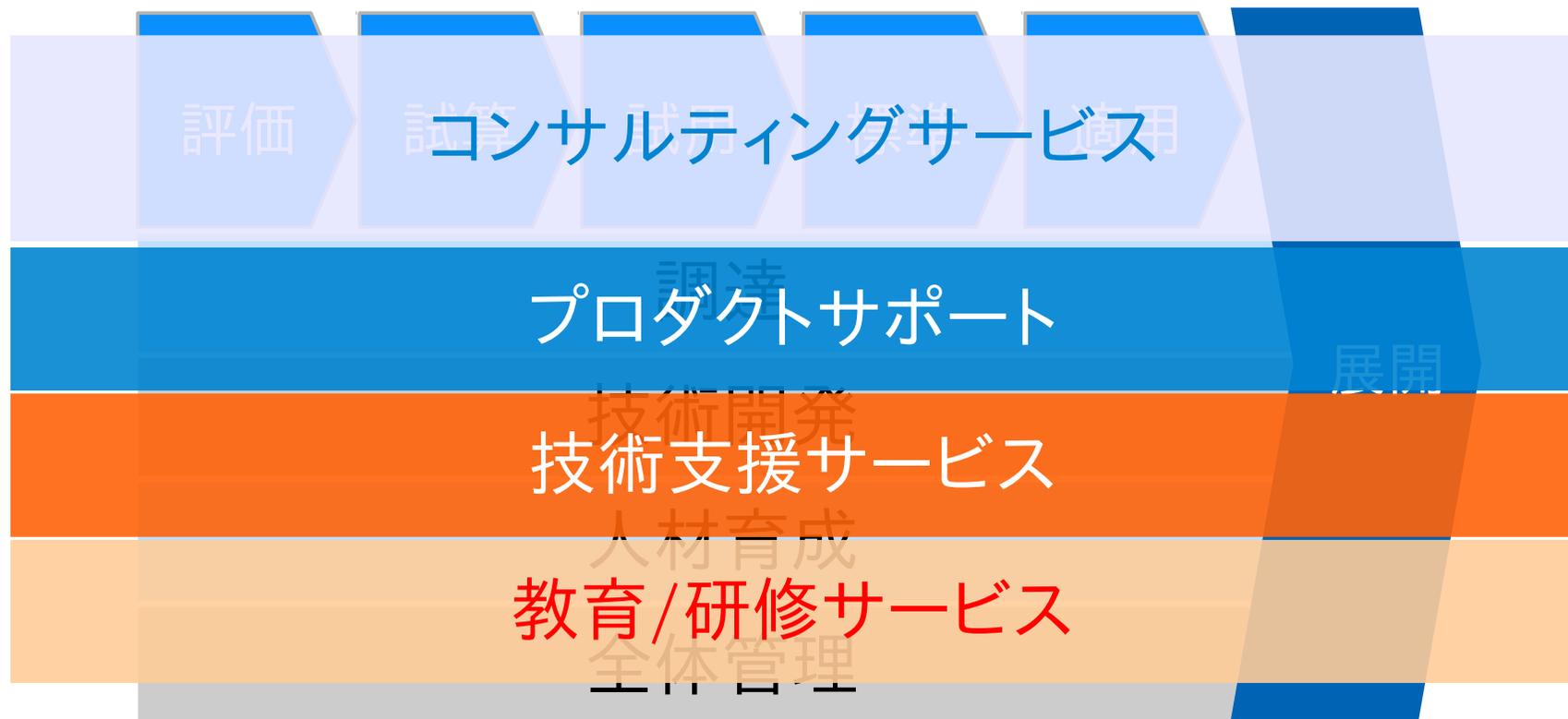


EDB Postgresの導入検討を、アシストがご支援します



各プロセスをご支援するアシストのサービス

- アシストは、長年にわたるOracle Databaseサポートで培った「サポート・ノウハウ」を活かし、Oracle DatabaseとPostgreSQL、EDB Postgresの適切な使い分けや、スムーズに運用を開始するためのノウハウなど、お客様のシステム規模や用途に応じた高品質なデータベース環境のためのサービスを提供いたします。





アシスト

「お客様」の「最高」のために

製品およびサービスについてのお問い合わせ先

株式会社アシスト
データベース技術本部

TEL:03-5276-3652
MAIL:database@ashisuto.co.jp
URL:http://www.ashisuto.co.jp/

※OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

※文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

※ガートナー「レポート・タイトル」著者名、発行日ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。